

#### (4) 保健福祉行政全体への意見・要望（自由回答）

（全員の方に）

問 32. 保健福祉行政全体や今回の調査について、ご意見やご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

保健福祉行政全体や今回の調査について、要望、意見を自由に書いてもらったところ、139 人から 169 件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

##### <保健福祉全般について>（41 件）

- 介護をする側にも支援制度を作って頂きたい。（男性／40 歳代）
- 保健福祉に関して全く考えたことがなかった。何をやっているのかもっとアピールしてほしい。（女性／20 歳代）
- 3 月迄会社勤めであった為、保健福祉について特段関心が無かった。今後は自身高齢化に向かうので意識を持って、目を向けて行きたい。（男性／60 歳代）
- 私もいつ福祉の方にお世話になるかわかりませんが、その時は親切な対応をお願いします。（女性／50 歳代）
- 南台は渋谷区の近くなので渋谷の事をよく聞く。渋谷の方が保健福祉に関して良いと聞くが、関係者の方は比較した事がありますか。（男性／80 歳代）
- 20 代ということとまわりに福祉関係者や介護を受けている者がいないため、全くというほど制度について理解していません。（男性／20 歳代）
- 身近な人に特に保健福祉に関わる者がいなかったのであまりにもいろいろな事を知らないでいる自分に少し驚いてしまいました。今は毎日の生活をやりくりしていだけで精一杯なのでなかなか目が向けられなかったように思います。同じ年頃の友人が多いのでその方達からいろいろな話を聞き役立てていました。お世話になる時にはきっと関心を持つと思います。（女性／40 歳代）
- 3 年前倒れてより包括支援センターでヘルパーさんにお世話になっています。色々体験し、介護保険のしくみの途上にあるのを感じます。介護保険も定着しだした現在、利用者の意識の向上、提供者のヘルパーさんの質の向上、それには介護を中継する事業所、行政の意識の向上が大事かと思います。（女性／60 歳代）
- 担当の保健師がコロコロ変わるのはやめてほしい。いい人から使えない人になって困ってる。（男性／30 歳代）
- ここのところ、年金記録問題や、後期高齢者医療制度、診療報酬改定 e t c、医療を取りまく政策が激しく動いています。それだけに、地域の保健福祉行政は地域の実状に即した行政サービスであってほしいと思いますし、地域の人々が、安全で安心して暮らせるサービスの提供を充実させてほしいです。（女性／30 歳代）
- 地域包括支援センターの中でも相談ごとやプライバシー、又、職員関係での出入り（介護事業団体他）が多くあるので、仕切りなどをするか個別にする空間部屋の利用を配慮していただく

心配りが必要かと思われます。迅速な対応も職員それぞれであるので専門職の多様性のレベルアップを求めます。(女性/40歳代)

- 自分がわからない事がたくさんある事に気づきました。また、身近に感じられない制度って意味があるのかギモンです。(女性/40歳代)
- 介護2の時にはベッドを借りてましたが、昨年支援が要支援になりベッドが借りれなくなり主人は背中や腰の手術を行っていましたので、ベッドがない生活はたえられません。1ヶ月10400単位ですがベッドの金額だけ借りれないのでしょうか、今まで金額いっぱいまで借りませんでした。体の悪い人によって用具も必要だと思います。私も脳梗塞を患い、二人で一人前です。(性別無回答/70歳代)
- 中野区が「福祉」に力を入れていることは以前より知っているが、それでもまだまだ足りないように感じる。今後の更なる福祉の増進に期待しています。(男性/20歳代)
- 保健福祉等今迄はあまり解りませんでした。この1~2年に、高齢でもあり、夫が実際に認知症、ガン等で、保健福祉センターや介護保険等に相談、利用する事が多くなりました。(夫…介護1)(私、身体障害4級)現在、ケアセンターの方と相談して、行動して居ります。(女性/70歳代)
- 私は現在70歳ですが、66歳のとき脳梗塞で足が不自由になり、杖が必要な位です。したがって外出はタクシー、バス、電車がほとんどです。交通費もかかります。何とか割引してくれる方法はないですか。(男性/70歳代)
- 保健福祉行政について、今まで特に必要もなく無意識でいたが、今後もう少し関心を持ち、身近なものにしておいた方がよいと思いました。(女性/40歳代)
- 設問の「保健福祉」、「〇〇センター」など、あいまいだったり知らない単語が多かった。(女性/20歳代)
- 区報にも紹介があればと思いますが…。実際必然性が生じてから区役所に行って“あそこに行け”“ここに行け”と言われ緊張して窓口を右往左往する自分が数年前にいたのです。ヘルパーさんについても介護する家で自分用の食事の仕度をしたり洗たくをしたりで、それを断れば介護してもらえなくなるという不安をかかえたり、ヘルパーさんの都合で昼食が午後2時を過ぎたりと、介護保険をお支払いしていても“これでいいのか?”確実に保険料をきちんとした施設で利用したいです。今後もこのようなアンケートの結果をお聞き入れいただきたいと思います。(女性/50歳代)
- 心臓等で手術され、看護4として本人曰く障害者となり、生活全般に税金、定期券等々支払いが半分以下となり本人喜び、普段はお酒飲んだり、高級車を運転したり自慢しております。もっと適切に診断して税金のむだ使い見直したいものです。(女性/60歳代)
- 区の実施する保健福祉の施策に満足しており、特に要望等はありません。長年のサラリーマン生活を終え、定年後は区の定期健診は必ず受診しています。お陰さまで健康そのものです。今後ともより充実した施策をお願いします。(男性/80歳代)
- 仕事で忙しいので意識していない、又は、知らない事が沢山あり、自分でもっと責任を持って目を向けないといけないと改めて思いました。(女性/50歳代)
- 福祉の保健証明証などほしい。(男性/60歳代)
- 医療だ、介護だ、福祉福祉と人間をあまりあまやかさない方がよいと思います。(女性/70歳代)

- 保健福祉と一言で言っても、広範囲な事業である事が分かりました。言葉や存在だけは少し知っている…という程度のものがほとんどで、まだ必要性を感じない年代という事もあり、それらの内容については無知に等しい状態です。私が想像する福祉の状態は、区民の様々な形態での要望が多く、区（都・国）が創意工夫しながら対応、取り組みをして下さっているのだらうな…という事です。私達国民の大半は、自らの権利は主張、要望はするけれども、自分達の責務というものはなおざりにしているのではないかなと感じています。中には地道に、国や地域の為に、必死で頑張っていって下さる方もあろうかとも思います。私達は幸せに慣れ、国や人様にやってもらうのがあたり前の生活をしてきたと思います。福祉に限らずに、私達日本人（中野区民？）は自分の為だけの事でなく、国全体の将来を考え、多少の痛みを伴いながらも、皆で考え取り組んでいける国民でありたいと願います。参考になる意見ではありません。日々、区民の為に働き下さり、有難うございます。（女性／40歳代）
- 二人の母（養母、実母）の認知症の介護に携わった経験から、特養ホームのベッド数の絶対数の不足は、怒りと絶望以外の何物でも有りません。予算不足とやらで、自宅介護のすすめ等と無神経な施策には心底腹が立ちます。一度でも経験した者で有れば、能天気、お気軽過ぎると思うものです。自民党のやり方の上を行つたつもりでしょうが馬鹿げた子供手当のバラまきをする位なら、もっともっと切実な生地獄に必死に耐えている人々の手助けを考えてくれないのか。小生も自分が当面する数年前までは、従兄弟夫婦が伯母の認知病で髪を振りみだして奮闘しているのを見ても実感が沸くことが無かったので、実際に当面した事の無い人間が考え付くことは想像できますが。それから我が家の三男が現在介護の仕事をして居りますが、現実離れの低賃金でも我慢して必死に仕事をして居ります。それこそ意気を感じなければ出来っこない仕事です。所帯を持つ等は、とても出来ない相談です。こういう彼等こそ、何を置いても待遇を人一倍良くしてあげるべきだと思うのですが。どうですか？（男性／60歳代）
- 今年1月障害者手帳（3級）を受けました。タクシー券の交付を受け通院に使用し助かって居ります。有難うございました。（女性／80歳代）
- 介護保険制度そのものを根本から見直してみたらどうでしょう。誰でも介護（病状が軽くても）を平等に受けられるように。（女性／60歳代）
- アンケート調査に参加させて戴き、大変勉強になりました。世の中、長生きしても認知症や寝たきりになりたくないと思っても誰しも考えておりますが、その為には個人で出来るのは、ご近所の人々とのお付き合い、又は家族の援け合いでしょうが、時代の流れで核世帯が多く、老夫婦の二人暮らし、時たま二・三世帯の家族連れがあっても、夫婦が生活に忙しく社会で生活の為働いていかねばなりませんし、又、家族、夫婦の時間帯の差がある中、都会の生活をしていかねばならない現状、先ず、健康でなければなりません。老人も、月に一度位は外に一步ふみ出せる様に、誰かパイプ役になってこの様な健康づくり事業等の催しに参加できる様、考えて欲しいです。お友達も出来て楽しいことでしょう。（女性／80歳代）
- 高齢化社会の中で、在宅介護の重要性とむずかしさが浮んできます。このアンケート調査で地域包括支援センターを知り、行政の対応を知りました。ヘルパーさんの収入をあげるなどきつと課題は多いことでしょう。ヘルパーさんをもっと長時間頼めるようになることを願っています。年々、資金の不足から介護の時間が短くなったり、内容がけずられていくのが残念です。子供手当のみ充実させるのではなく、又、バラまきではなく、必要とする支援・介護ができる制度を望みます。いろいろ大変なことも多いと思いますが、よろしく願います。（女性／

60 歳代)

- 保健福祉行政は、身近に「事」が起こらないと無関心になると思う。保健所は、健康診断や井戸水の検査で利用したことがあり、どこにあるのか電話帳で調べた。福祉関係はインフラの整備が急務だと思う。相談窓口をいくら充実させても、受け入れ先が数年待ちでは話にならない。駅で言えば、改札とホームを大きく広げても列車が少なければ人があふれるのと同じ!!介護保険についても、あれこれ制限があるみたいだが、国民健康保険のように気軽に使えるようになると思う。「子ども手当、老後に備え預金する」という川柳が入選するような世の中ではなさない。私が 60 代のころは、70 歳を過ぎると医療費は無料になるはずだったが…。(男性/70 歳代)
- 高齢者に対する無料検診は頻繁であるが、30 歳代の検診については、受診資格が不明。一度子宮がん検診を受診しなかったせいか、その後お知らせが来ない。どのような検査が何歳で受けられるのか区報を利用して知らせてほしい。これから、親の介護が心配になってくる世代です。無理のない金額でヘルパーさんなどのサービスを受けられるような体制づくりを望みます。(ヘルパーさんの人材確保・育成。介護に関する情報発信など。)実際に介護する立場になったときの具体的な方法というか手続きなど必要なものがわかりやすくなっているのが不安です。子供を保育園に預けたいけど預けられない、というのと同じ状況のようになったらと思うとゾッとします。(女性/30 歳代)
- 福祉センターやそれらの機関について全くとっていい程、無知識です。その為、TVのNEWSとかでさわがれている内容について認識はあっても、実際に身近でおきた場合の対処が適切に実施できるかは疑問です。(男性/30 歳代)
- 正直なところ、保健福祉行政と私自身に関連性を感じませんでした。私の意識が低すぎるだけなのですが…知識と意識を根づかせるには、おのおのが自発的に知りえる動機、または(強制力のある)セミナー、講演などの実施、などが必要と思います。(郵送での書類は、ゴミとして廃棄される気がします。)長期的な視野で見るのであれば、行政施設の拡大などはいかがでしょうか?情報発信の場が大きくなると共に、雇用の確保、住民の地域定着による税金確保などメリットは多いように思いますが。(男性/30 歳代)
- 問 29 の相談機関 4 ヶ所が身近に感じられるように、注意してパンフレットなどに目を通したいと思います。(必要な時に利用できればと思います。)(女性/70 歳代)
- ・特養の入所者に対して看取り介護をできるようにしてほしい。どんなに立派な施設ができて、人生の最後の一番体力的に弱った時に、特養を退居させられて、病院をタライ回しされるのではタマラないです。・介護施設の就労者が不足しているのを痛感します。賃金や外国人就労者 e t c、抜本的な見直しが必要とされていると思います。(女性/60 歳代)
- 介護サービスを受ける時に、思うようにサービスを受けられない。家族が同居しているので家事サービスは受けられなくなってます。自分自身、病気があって義母のお世話に限りがあるのですが、家事サービスは受けられないのです。状況に応じて、対応が可能になることを希望します。(女性/50 歳代)

#### <高齢福祉について> (12 件)

- 健康を害している高齢者は、病気と闘うことでいっぱいです。(女性/70 歳代)
- 老人社会に向かっている、という言葉ばかりは耳にする機会が多い昨今です。しかし、老人が

暮らし易い町作りがなされているとは思えません。私の住む地域はアパートが多く老人の姿を目にする機会が多いし、私共夫婦も既に老人です。まず、困難に感じるのがゴミの始末。ゴミをなくすためには、個人の仕分けでは無理。ゴミの出ない（特にプラスチックゴミ）販売方法を根本から考えて欲しい。老人が暮していくために！次には歩く通りの不便さ、自転車優先歩道は歩く者にとって不安が一杯です。段差の多い地面も歩きにくい。普通の暮らしに行政の目が向いていないことを痛感しています。（女性／70歳代）

■若い人の健康・体力作りは、スポーツクラブなどで行なえますが、高齢者向きの健康・体力作りは、行政の下であまりお金をかけずに、ラジオ体操や転倒防止の体操など、手軽に地域センターや公園などで行なえると良いと思います。70歳以上くらいの方が通えるシルバークラブ（子供でいえば学校のようなもの）（あまり高額でない料金で）を、空き教室などを使って出来たら、楽しくて良いと思います。中野は便利なので、一時的に住む若い人が多いので流動的で、区政はやりにくいと思います。でも私のように生まれてからずっと中野に住んでいる人もたくさんいるのですから、「中野は住みやすく、好き！！」と言えるように行政の方々、いろいろ大変でしょうが、頑張るって良い中野区作りに励んで下さい。私達も区民としてできるだけ協力していきたいと思います。（女性／50歳代）

■・人に迷惑を掛けたくないという思いで、一人で辛くても頑張っているのに、…申込み（「区」内特別養護老人ホーム類等、）出来ないとの事。もし、何時倒れて耐えられなくなった時はどうすればよいのでしょうか？・今現在は何とか強く生きようと頑張っておりますが心配です。・区内に特別養護老人ホームをもっと作って行かないと、高齢化が進んでいる現在、間に合わない、先が見え見えです。宜敷御一考願います。（女性／80歳代）

■高齢者、障害者に対する支援を充実させてほしい。自立支援法案を改正してほしい（薬の無料化、等）。（男性／50歳代）

■祖母が認知症で在宅での生活が困難になり、施設入所を申し込んでいますが、すでに認知症が重度化して、グループホームは断われ、特養ホームはAランクの評価があるけれども、500人待ちで、近くの病院で入院生活を余儀なくされています。経済的にも負担は大きく、本人も長期の入院で足・腰も弱ってしまいました。認知症でも「人間らしく」暮らせるように、区内に（家族と近くにいられるように）特養ホームを増設してほしいです。（女性／20歳代）

■これから自分自身年を取っていくのに、どんな所が力を貸してくれるのかがよくわからない。（男性／60歳代）

■いわゆる老人ホームが少なく、順番待ち！等という話を良く聞きます。近年、中野区でも、小・中学校が統合され必要なくなった建物の有効利用をこれから確実に増加する高齢者のために使う事を強く望みます。外国の老人ホームのような明るく、楽しい施設、校庭をきれいな芝生にして運動、散歩、ゲーム、職員もグレードの高い介護ヘルパーにして高給を与え、中野の緑の老人ホーム、各県から見本にされるような介護区中野を目指して下さい。子供を育てるのに金はかかりません（ぜいたくや意味のない学習塾に通わせる必要はありません）。弱い老人に金をかけて下さい。（男性／50歳代）

■中野区の南部には特養が少ないと思います。地域ということで考えるのであれば、住み慣れた場所で介護を受けるという高齢者のニーズに応えるべく計画をお願いしたいと思います。又、認知症に対する家族の知識や理解が不足しているために、トラブルが起りうる可能性があると思います。地域包括などの認知度を更に上げて、認知症に対する家族向けのセミナーの開催

など多くすべきではないかと考えます。(男性/30歳代)

- 一人暮らしで介護が必要だったりする老人への対応を充実することが大切。手続きなどが面倒で、本当の一人暮らしの老人には、福祉を受けるまでの書類、手続きが大変。(女性/40歳代)

#### <行政全般について> (20件)

- 間もなく夫婦共 70 歳を迎えます。現在は、少しでも老化を遅らせるように毎日の運動（主に筋トレでジム通い）や、年1回の人間ドックで健康チェックを行っています。が、いずれは介護を受けざるをえない時は必ず来ます。その時に入居できる施設はあるのでしょうか？若い方が子育てに不安を抱き少子化現象が続いていますが、その将来を見通した不安は老後のそれと同質のものと思います。この不安を解消できるような行政を進めて下さるよう期待しています。(女性/60歳代)
- 医療・福祉関係については、どうしても民間の機関を利用することが多い。区や行政も行ってはいることは理解はしているが、窓口や対応が分かりにくいと思う。税金云々ということは別にしてもっと親しみやすく、分かりやすい、利用しやすいような環境を整えるべきだと思う。又、福祉関係に限らず、行政は「聞かなければ教えてもらえない」という体質はおかしいと思うし、本来、市民に一番密着すべきであると思うが、それが出来ていないのが残念に思う。もっと積極的に広告したり、一般区民の目にふれるようにすべきだし、親しみやすさを求めるべきだと思う。自分を含め、一人暮らしの人間が多い中、警察の連絡表などを利用して、もっと身近な存在であってほしいと思う。今後の行政の活動に期待します。(男性/40歳代)
- 生活保護などとても甘い気がする。福祉などに対して力を入れすぎている。皆に平等な社会を作って欲しい。(女性/40歳代)
- 保健福祉行政という言葉聞き、福祉全般に中野区が「進んでいる」「すぐれている」と言うような話を、この10年~15年位の間、聞かなくなった。20年前にくらべて他区より遅れてしまったような話を、よく聞きます。たとえば近隣の練馬区よりも遅れていると言うような言葉を聞く事が有ります。※何とか、話の中で「中野区は良い」と言う言葉を聞けるように、又、話せるように御努力願います。(女性/80歳代)
- 行政が優良な市民をいじめています。90歳を過ぎた母に介護保険適用できないとおどしております。高い区民税（東京都でも最も高いのでは？）をとりながらその使い道は全くわからない!!・中野区は福祉が一番といいながらその偽善者の代表だと思えます。・中野区の地域活動は、一部の利権者のためにやっているだけ!!・近くの公園で自治会の防災活動と称しながら、特定の人だけでバーベキューを楽しんでいるだけ!!大震災の際だれも役に立たない!!(男性/50歳代)
- 他区に比べ富裕層は少ないが、一時居住者よりも定住者が多いのではないかーという印象把握に立っての私見なのですが、近隣同士、助け合う風土はきちんと築かれ、伝えられていると思います。地元のお祭り、子ども会、商店街の方々の協働、これらは、ひいては少子高齢化社会の福祉を支える基盤とも契機ともなる筈です。ただ残念に思うのが、今回のアンケートにも如実のとおり、旧来あった地元のネットワークとは全く違ったところで、頭越しに区の行政が何かを施策・実行し、結果、ほとんど区民に認識すらされずにいることです。グローバルスタンダードで、区政もスイス、イギリス辺りの地方行政を参考にされているのかもしれませんが、もっと、そもそも地元で代々根づいている共同性（これこそ福祉の原点）を調査されたらどう

でしょうか。たぶん、今の中野区役所保健福祉部で、保健福祉企画を担当されている方よりも、徳川幕府の治世にあつて、中野・杉並の直轄地を任されていた代官さんところの家老たちの方が、行政センス、企画センスはいいはずですよ。“100年先を見据えた区政”を、ぜひお願いしたいものです。(女性/40歳代)

- 杉並区と比べると保健福祉サービスが低い。「区議会だより」を全世帯に配布なんてしないでその分の予算を福祉に回せばいいのに、と思う。(女性/30歳代)
- アンケート調査結果のフィードバックをよろしくお願い致します。杉並区や練馬区と比較すると、中野区の行政サービスのレベルは低いです。(男性/40歳代)
- お願い：保健福祉部に於いて、一般の区民が利用出来る施設の名称を一度決めたら替えないよう要望します。(女性/70歳代)
- ・老人クラブなどで他区の保健衛生、福祉行政などの意見交換をすると、中野区は産業、オフィスの数が少ないためか、近隣の区よりはるかに負担率が高い。今月号にはなかったが、区報の安易な編集には毎月恐れ入る。次期区長立候補予定の現区長のどうでもいいコラムなど、毎月載せる必要はない。何人がかりで発行しているか解らないが、PTA会報の方が読みごたえがある。・区職員の数が区民数に較べ多過ぎる。職員を減らし、区会議員の数も減らすべきだ。・行政のムダが多すぎる。・区会、区職員、サンプラザ問題など透明化せよ。・教職員の質を高めよ。(男性/70歳代)
- 独居単身者（いわゆる1人暮らし世帯）対策の優先的実行を願いたい。近年の少子化において高齢者の、働き口の確保（出稼ぎ）のため都市へ流れる青・壮年の、双方の事情から首都圏では特に独居単身者数・率共に膨大と思われる。具体的には定期的巡回・見回り制度など。あるいは施行されている施策のより分かりやすい広報・紹介など。(男性/50歳代)
- 外車や大型車を乗りまわし「うち、お金持ちだから」と豪語している人達が住む区民住宅の家賃に税金を使うより、保健福祉行政の方にお金を使ってもらいたい！なけなしの給料から差し引かれた大事な大事なお金ですよ！！(女性/50歳代)
- これは関係ないかもしれませんが中野区も「すぐやる課」的なものを作った方がいいと思います。テレビで見たのですが葛飾区(?)で「すぐやる課」ができ、住民のクレームにすぐに対応しているのを見ていいなあと思いましたので…。(男性/40歳代)
- 区民に対し、すべての対応について公平・公正であること希望する。特に職員の対応。(男性/40歳代)
- 施策の妥当性を評価致します。(男性/80歳代)

#### <本調査について> (14件)

- 今回の調査結果はいつ頃、どんな方法で周知されますか。興味あります。(女性/50歳代)
- 転勤でここに住んでいるので、区政について何か考えたり意見があつたりという積極的な姿勢がありません。無作為に選ぶのは良いと思いますが、保健福祉については、居住歴が10年未満の者に聞いても有効な(有意義な)回答が得られないと思います。(男性/30歳代)
- これも税金でやっているのですから調査結果をきちんと公開・公表して下さい。結果を受けてどう行政が対応するかまでを含めて!!税金どろぼうになりますよ!!(男性/50歳代)
- 調査にかかる切手代など、経費がもったいない。調査等しなくても、区民の思いぐらい理解すべき。こんな事をする前にやる事があるのでは?税金の無駄使いである。(女性/30歳代)

- 現在区の検診でお世話になっている程度で保健福祉行政全体について判っていないので意見の表明が出来ません。(男性/70 歳代)
- 元々良く知らない制度や施設について意見を求められてもいいかげんな答えしか書けません。資料も添付して「これは知っていましたか？」とか「これについてどう思うか」としないと。そうやってもその資料だけ読んだ上っ面の意見にはなってしまいますが、わかりません、どちらともいえないという答えのアンケートにはならないかと思います。(男性/50 歳代)
- 今回の調査の回答率が気になります。アンケートを出すにあたり、紙媒体ではなくネット等にすべき。この用紙や書類も税金でまかなわれていると思うと、このアンケート後の改善に期待します。アンケートのみではなく、目に見える確かな成果を期待しています。(男性/20 歳代)
- 今回の調査は簡素過ぎる。やるんだったらもっと細かくかつ量も多くした方がいいと思うが、区職員の方も色々忙しい日々を過ごされているから仕方ないと思うけど。(男性/40 歳代)
- 届いたのでとりあえず回答して返送しますが、こんな程度の内容で何が解るのかギモンです。ネットでアンケートにすれば経費を安くおさえられるのに…税金の無駄だと感じます。もちろん高齢でネットを使えない方もいるのでしょうからムズカシイでしょうけど。でも、何かやらずなくちゃ！という姿勢は良いと思います。(女性/30 歳代)
- この様に調査をする事は良いと思います。(女性/70 歳代)
- まずもって本調査・アンケートに要した経費、人員と本調査の結果をどのように反映されるのが不明。このような調査は今後不要と考えます。(男性/80 歳代)

#### <情報提供について> (24 件)

- 区の保健福祉の業務をしっかりとらせてほしい。(女性/60 歳代)
- 保健福祉施策について“よく知らない”、また知る方法もわからないのが実情です。地域包括支援センターと地域センターは別ですか？わからないです。(男性/60 歳代)
- あまりにも知らないことが多かったです。もう少し区報等でもっと内容をアピールしていただきたいです。(男性/20 歳代)
- 健康診断をおこなうようなバスがとまっているのをみかけるがどのように申し込むのかわからない。(男性/20 歳代)
- 広報をもう少し強化してほしい。「こんな時どうすれば良いのか、どこに行けば良いのか」等。(女性/20 歳代)
- 自分自身、まだ老いを実感していないが、やがては行政のお世話になる日が来ます。その日になるべく遅く来る様、健康でいる様、自分で努力をしたいと思います。また、日頃から区報、その他で広報活動をして頂く様お願いすると共に、自分でも知識を得る様努力したいと思います。(女性/60 歳代)
- 聞きに行かないとわからないことが多いので、色んな情報をもっと入ってくる環境になればいいと思う。(男性/30 歳代)
- 保健福祉行政全体がよく見えて来ない、身近に感じる事が出来ない。広報活動に力を入れて下さい。(男性/50 歳代)
- 区民の生の声を収集・活用する取り組みはとてもよいと思います。街頭や公共の場所などで、結果や施策について説明し、継続的に改善しつづけてほしいと願います。予算や区政などがより区民の期待や安心につながるよう楽しみにしています。(男性/30 歳代)



- 各種保健支援センターが有るのは知っているが、積極的なアプローチが無いので自分から支援・相談に近づけない感じです。(男性/70 歳代)
- 保健福祉サービスの個々の具体的なサービスについて、もっと区民に周知して下さい。(男性/50 歳代)
- 昼は会社に行っており、地域の情報についてはあまり認識していないのが実状です。言葉も堅くなるしいものも多く、実際何をやってくれるのかをわかり易く説明してくれる機会を設けてもらえるとう嬉しいです。(男性/40 歳代)
- 知らないことや特に関心を持たず見落としていることがあると思います。もう少し身近に感じられるように伝える事を考えてほしいと思います。区報に掲載されているのでしょうか？されているならばもう少し見出し等を大きく、インパクトがあるようにしてくれると興味をもてる機会があると思います。(男性/30 歳代)
- 保健福祉行政などを区報などでページを増やして広報活動をしたほうがいいと思います。保健所を利用したいと思ったことがありますがよくわからないので利用できなかったことがあるので…(保健所の活動、何をやって何を出来ないかなど)。(男性/40 歳代)
- 区の制度や福祉の内容については、正直殆ど知識もなく、どの様に利用すれば良いのか分からない。自ら知るための努力をしなければいけないのかもしれないが、もう少し分かりやすく周知させる必要もあると思う。例えば小・中・高の義務教育の中である程度の説明を行うとか、分かりやすいチラシやハガキを郵送で送るなど…(貼り紙やポスターでは不十分)。良い制度、相談窓口があっても、利用者がそれらについて何も知らなければ、結局税金の無駄使いだと思う。(女性/20 歳代)
- 配偶者がこの土地の生まれで、結婚を機に賃貸住まいとなり 10 年以上です。流動的と考えられている賃貸住まいですので、僕らの様に、まだ若く(介護の年ではないという意)子供も無い夫婦世帯では、この地区に密着したり、町会とおつきあいや地域の活動にも全く参加していないこと(子供がいないので学校や公の場とのつながり情報も入ってきません)を、地域からの孤立という感じで、やや不安を持っています(何の接点がない人でも区からの支援は受けられるのか?)。今は、身体とも健康である為、又、自分達の親もそれほどの高齢者ではありませんから、福祉に対しての知識も利用も全くありませんがー。おそらく近々納付するであろう介護保険料。ただただ意味も知らずに天引きされるのでは…。是非介護制度のしくみや内容、現状の報告など通知や冊子で教えていただきたいと思います。情報無知であるがゆえに、社会に参加したりできず、又、相談窓口を知らなかったり在宅生活者の為の包括支援センターへの協力希望など…(将来とても不安に思っています)。いつどこで必要となるかわかりません。是非、国民の義務である納付をするからには権利として色々の情報や知識をお教えいただきたいと存じます。又、自分達だけでなく、現在の高齢者の方やボランティア、活動をされている皆様に協力するという意味でも、無関心ということが一番の無責任であると思っています。どうぞ福祉の中野区がますます生活しやすい地域となりますように一区民として希望します。(男性/30 歳代)

#### <保健福祉の窓口について> (8 件)

- 区役所の窓口業務の方の対応知識をもう少し高めてほしい。(女性/70 歳代)
- 連絡窓口をしっかりとしてほしい。(女性/60 歳代)

- 区の保健福祉の方に、個別に電話なり、訪問してほしい。(女性/60歳代)
- 以前、母の介護をしている時に区に相談に行ったがとても不親切だった。どんなサービスが受けられるか、すべてのサービスを知らせてくれて当然だと思うのに、わからないから聞いているのにあまり教えてくれなかった。税金、保険料等をとることばかりで提供サービスが悪い。(女性/50歳代)
- 保健機関の対応をもっと良くしてほしい！(男性/40歳代)
- 医療制度など受ける際、申告、並びに必要書類を区役所に電話で問い合わせる時、私共は馴れない事で一度ではわからない場合、再度、電話で問い合わせる事があります。その際、電話の対応者が変わる度に、初めから説明をしなくてはなりません。最初に出られた方が例えば、(保健福祉部、後期高齢者医療担当の〇〇です)と申されると、次の電話に〇〇さんをお願いします、こちら××ですが、この点がまだわかりませんという事で、無駄がありません。お名前を伺うと助かります。又、区に出向いた時も、対応の方が名札をおつけ下さると再度その方をお訪ねして、ご相談出来るので区民と区との親近感を感じ安心してお願い出来ます。担当の方は自信と誇りを持ってご相談下さる様をお願いします。(女性/80歳代)
- 利用する機会がないために分からない事が多い(→特に問29について。利用していないため「分からない」としたが、身近に感じていないわけではない。)必要なときにどこへ問い合わせれば良いのかを教えてください。(女性/30歳代)
- はじめてのアンケートです。これからいつか私も通る道かもしれません。困った時、相談できる窓口があれば、前向きに一步踏み出すことができるかもしれません。(女性/50歳代)

#### <調査によってサービスを知る機会になったという意見について> (6件)

- このアンケートに答えていて、町会にかかわっている割には何も知らない事にビックリしています。自分も老人に近づき、認知症とかにならないためにも自分に出来る事はお手伝いしたいと思います。(女性/60歳代)
- 今まで自分が関心を持っていなかった制度や組織がたくさんあることを知り驚きました。自分が当事者になる前から基礎知識として身につけておくべきだと感じました。(男性/30歳代)
- このアンケートを記入していて、家と職場の往復なので、自分の住んでいる区について、全く知らないことが多いと実感しました。働きながら、区の活動を理解したり参加するのはむずかしいと思います。しかし、気にとめてこれから生活したいと思います。(女性/20歳代)
- 今まで、福祉行政について関心がありませんでしたが、このアンケートによって、もっと勉強しなければと強く思いました。広報等で、もっとわかりやすい文章で書いていただけたらと思います。(女性/50歳代)

#### <健康・医療について> (17件)

- 中野総合病院の小児夜間は大変ありがたいです。ぜひ続けて下さい。(女性/30歳代)
- 昨年がん検診(区実施の)の存在を知り、子宮がん検診のみ対象枠だったため受診。気になっている乳がん検診は対象年齢が高く自費で受診、乳がんは若くてなってしまうと死亡率も高く、もう少し実施する年齢対象を下げてください。(女性/30歳代)
- 中野区の成人健診、その他の子宮ガン・乳ガンの健診について不満が多少あります。成人の健康診断の項目が削減されたのと女性の子宮ガン・乳ガンが2年に1回という事です。なぜそう

いう所から削減対象にするのか理解出来ません。多少自己負担は必要だと思ってます。年に1回は絶対必要だと思います。(女性/40歳代)

- 病院の先生方の高齢化が気になる。(女性/40歳代)
- 子宮頸ガン予防ワクチンの助成をして欲しい。(女性/30歳代)
- 去年(H21年)近くの眼科病院に区民健診で検査しましたが、検査の結果を医者に聞いたがあまり詳しく説明してもらえなかった(区民健診は診療費が400円なのでこの位しか出来ないような事を言われた、ショックだった、ガッカリした)。(男性/60歳代)
- 区でもっと気軽に健康診断が受けられるようにしてほしいです。(女性/30歳代)
- 任意の予防接種の助成が受けられるようになってきているようでありがたいです。これからもお願いしたいです。(女性/30歳代)
- 私は72歳です。現在まで健康にすごしています。区の健康検診は必ず受けていますが、これから先健康に自信がありません。健康について保健福祉部に相談してもよいのでしょうか？(女性/70歳代)
- ガン検診のサービスを期間限定でなく、いつでもできるようにお願いします。(女性/40歳代)
- 任意予防接種の助成、無料化を検討して下さい。予防接種で防げる病気ならば、すべての子供達が速やかに受けられるように。(女性/30歳代)
- 区の健康診断について。高齢者になると健診項目が少ないのはおかしいと思う。(女性/60歳代)
- 子宮ガン、乳ガン検診は毎年やって頂けたらと思います。不安なので、行なわれない時は病院に行って自費で受けるので大変です。(女性/50歳代)
- 区の南地域に在住の為、渋谷区の医院に昔からかかっている。健診など、国保で行なう場合、かかりつけの病院に行けず不便である。両方が使えると便利。(男性/20歳代)

#### <まちづくりについて> (11件)

- 中野区はお年寄りも多いが、最近の子育て世代も増えているのに、道や駅でエレベーターがなかったり(\*ベビーカーで出かけられない)、舗装されていなかったりする所が多いのでバリアフリーを意識して町づくりをしてほしい。(女性/30歳代)
- 区民が気がねなく集まることができる、コミュニティーセンターが欲しいと思います。例え、存在したとしても、どこにあり、どんな活動をしているのか、知りません。趣味で小物を作る、囲碁を差せる、料理を教える、安くコーヒー・お茶が飲める、よろず相談ができる、紹介ができる、簡単な体操が300円位で出来るetc。人件費や施設費など、大変かと思いますが、リタイアして、まだ力の余っている中高年層の方たちが動ける、ボランティア+αの場所があれば、受ける側にとっても嬉しいことではないでしょうか。(女性/50歳代)
- 中野区は近隣の杉並、練馬区に比べスポーツ施設が少ない。統廃合した学校等を利用して施設を増やすべき。(男性/60歳代)
- 昔の自分が若い時代と違って近所付き合いがなく顔を合わす事もない。本当に淋しい時代になったとつくづく思っています。又、隣近所の方が死亡された事を知らない事も有ります。昔の井戸端会議の様な場所があると良いですね。(女性/70歳代)
- 練馬区の中村にあるスポーツ施設(スポーツジム)を中野区の住民も使用できるように提携してほしい。(男性/30歳代)

- 鷺宮体育館、中野体育館の利用料金が低い。サンプラザのスポーツ施設を区民に利用できるようにしてほしい。(男性/60歳代)
- 街灯の数も少なく、高層建物がふえたせいもあろうが、光化学スモッグ注意報など、なにかスピーカーが鳴っているのかなと思うぐらい不明瞭で、緊急放送の時のことも考え、スピーカーの設置場所を再点検してほしい。(男性/70歳代)
- 保育園、児童館、老人活動園、一体型の建物をもっと多く作ってほしいと思います。地下は若いママさん達のお料理教室など出来るともっと良いのではと思います。(女性/60歳代)

#### <児童福祉について> (5件)

- 保健福祉に当たるか分からないが、保育園、小さい子(園児~小学生など)を育てながら働いている世代に配慮した制度、仕組みをしっかり作ってほしい。都心に近いので住みやすいが、保育の問題などが発生すると、少し遠くても親元で生活した方がよかったです。夫婦のみ世帯でも暮らしやすくしてほしい。(保健福祉センター) 子供が産まれた時に家に訪問していろいろ問題がないかケアして下さったり、小さい子をもつ親が集まれるような会をひらいてもらったり、活用させてもらいました。感謝しています。(他) 保育園不足で、できれば保育+幼稚園の一体化されたこども園を増やしてもらいたい。子供の教育を考えるこども園も、力をいれてほしい制度です。(女性/30歳代)
- 小さい子どもが3人いるので子育て支援を充実してもらいたい。現在、失業中であるため国(厚労省)だけではなく自治体による免除等の制度を増やしていただきたい。(男性/30歳代)
- 保育園をもっと増やしてほしい。子ども手当よりも、もっと役立つものにお金を使ってほしい。(男性/30歳代)
- 子供について保健福祉の分野に含まれるのか分かりませんが、隣の杉並区、渋谷区に比べてサービス、環境が悪いという話がよく出ます。(男性/30歳代)
- 子供が安全に健康維持のためにも外でたくさん遊べる環境づくりも大切だと思います。少子化もありますが本当に外で遊んでいる子供を見かけません。安心した場所やパトロールなどを強化し、皆で子供たちを見守る環境づくりが大切かと思っています。(男性/30歳代)

#### <地域活動について> (4件)

- 保健福祉とは直接関係ないかもしれませんが、町会などの当番制、ゴミカラスネットの設置集積所の掃除など、年齢や病状に応じた対応があればと思います。(女性/70歳代)
- 知らない事ばかり質問があった様だし、身近に知りあいが居ないので交通がないし、サークル、催しに参加出来ない。(女性/60歳代)
- 平日は仕事をしているので、土・日に健康体操教室等があれば参加したいと思っています。(女性/60歳代)

#### <その他> (7件)

- 一戸建て住宅に一人で住む者として、孤独死した後の発見の対応策について思案するも、解決策が見い出せずにいます。(男性/60歳代)
- 私は何事にも毎日が不安です(女性/70歳代)
- 平素何彼とご配慮を戴いておりますことを有難く感謝申し上げます。何卒今後ともよろしく

お願い申し上げます。(女性／90歳以上)

- 特になし。中野区に転入してまだ8ヶ月くらいなので、少しずつ中野区の福祉行政を理解して、今後、利用できる施設、イベントに少しずつ参加していきたい。(男性／40歳代)